

体験車で大規模地震体感

機械メーカー「滝川工業」で防災訓練

平岡南中・支援学級生も参加



地震体験車で激しい揺れを経験する生徒＝滝川工業

加古川
加古川市平岡町中野の機械メーカー「滝川工業」で21日、防災訓練があり、社員約100人と、平岡南中

学校(同市平岡町二俣)の支援学級の生徒9人が、体験車で地震の揺れを味わった。

同社は毎年、社員向けに防災教育を実施しているが、大きな地震を経験したことのない若手社員が増えているという。このため、実際に体感してもらおう

と、初めて地震体験車を呼んでの訓練を企画。地域貢献活動の一環として、同校の生徒も招いた。

地震体験車は、阪神・淡路大震災や南海トラフ巨大地震を想定した揺れを再現。ヘルメットを着用した生徒たちは、震度6強の「地震」に体を上下左右に揺さぶられながら、膝をついたり、壁にもたれたりしてこらえた。教諭も「頭をしっかり守る」「すぐに逃げられるよう、膝はついても正座はしない」と指導した。

3年の本田大空さん(14)は「この揺れが今後、いつ来てもおかしくない」と改めて意識しました」と話した。

(見玉英友)